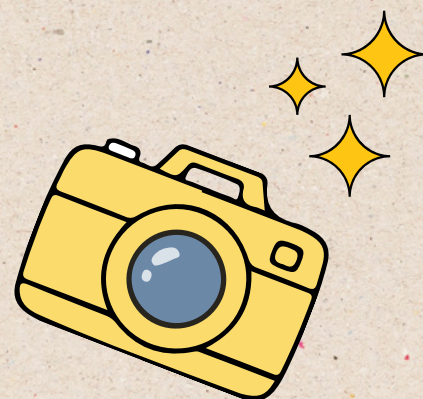


R7.11.25 つき組保育ドキュメンテーション



駐車場のユリの木の葉っぱも
キレイに色付き、葉っぱを触ったり
落ち葉を踏んだりする中で、
音や感触からも秋から冬への
自然の変化を感じとっている子ども達。
澄み切った秋晴れの青い空の下で、
みんなで、はいチーズ☆
葉っぱを何枚も拾って
落ち葉のブーケを作ったり、
ペンで顔を描いてみたりと、
自然物に触れて楽しんでいます。





部屋に先日撮った集合写真を貼ると、
 「おっきい木だったよね！」
 「太っちょ（木の幹のことかな！）な木！」
 見て感じたことを口々にし、会話をする子ども達。
 「どのくらいだったかな？」という話になり、
 大きい紙に描いてみることに！
 「もっと大きかったよ！」
 「迷路みたいな！（枝分かれのこと！）」
 子ども達がイメージした木を大きな紙に描くと…
 「クレヨン持ってくる！！」と次々に集まり、
 「一緒に塗ろう！」と、塗り絵が始まりました！





どんどんお友だちが増え…



「木の色ってどうだった？」
 「茶色！」「黄色も見えた！」
 子ども達の感じ方は人それぞれ。
 きっと紅葉した葉っぱの色の
 印象が頭に残り、
 木から生えている葉っぱを含めて、
 黄色の木に見えたのかな…？
 子どもの感性は無限大♡
 すると、「こんな色も見えた！」と、
 重ねて塗る子も出てきて、
 とっても神秘的な木に！！



後日完成した木を切り抜いて、
壁に貼ると、大喜び！！
すると今度は、
「これじゃ、寂しい…」
「木にはカブトムシがいるよ！」
「カブトムシ作ろう！！」と
会話が弾むS君とI君！！



カブトムシの本を見ながら、一生懸命描こうとするお友だち。
カブトムシの他に、小鳥やお花…次は、葉っぱも作る！！と
意気込んでいるところです！どんな木になるのかな？
子ども達のイメージを形にし、みんなでつき組の木作りを
引き続き楽しんでいきたいと思います！！